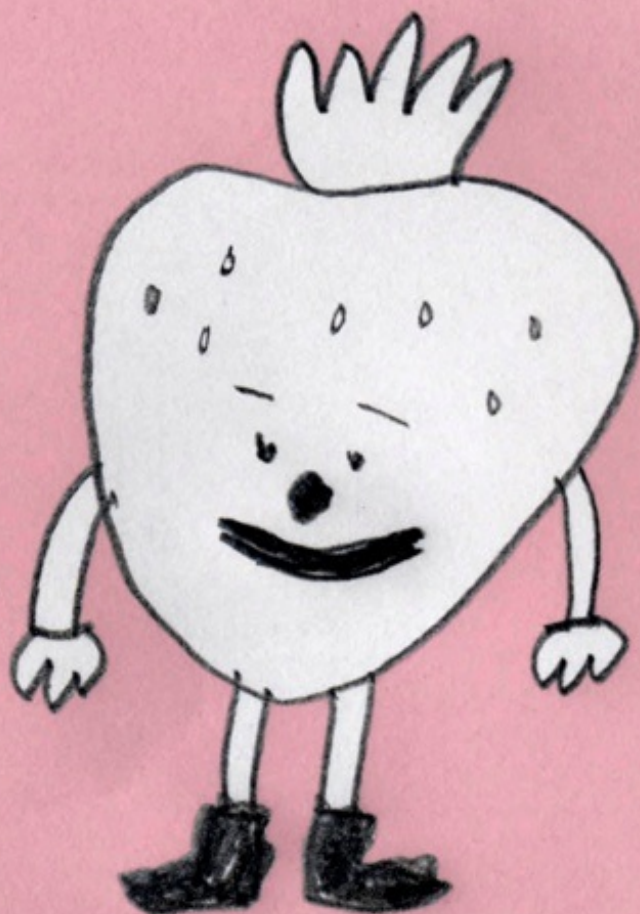


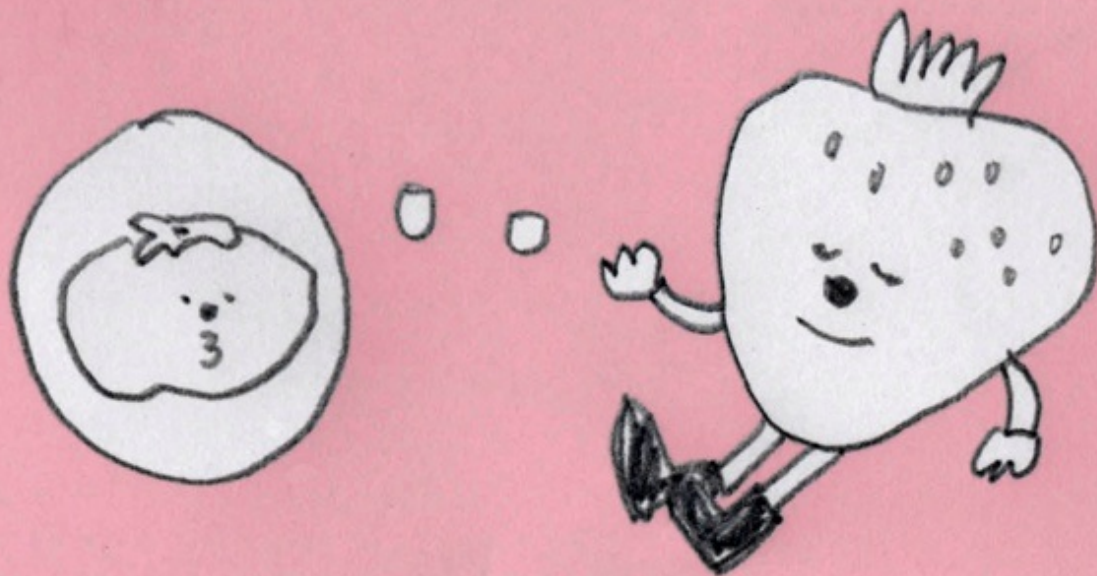
いちごの夢



MITAZA2 2012.

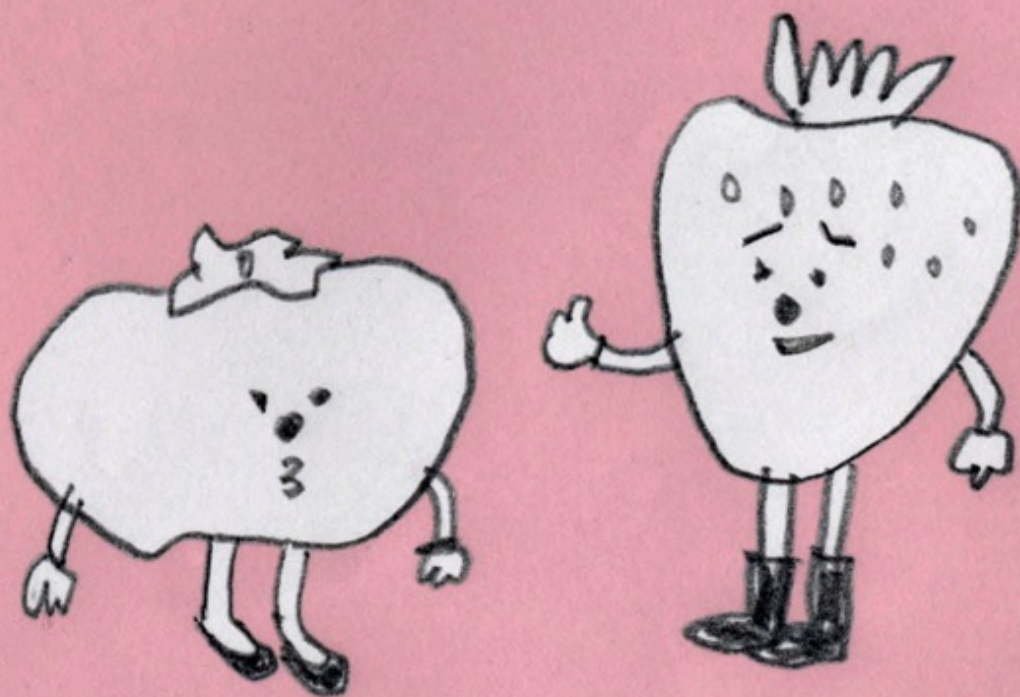
いちごは夢を抱いていま  
いた。

「わたしは、柿になりたい」



「かわいいね」と  
言われてしまかりのいちごは  
淡くって、深みのある  
大人の女性になりに  
なりました。

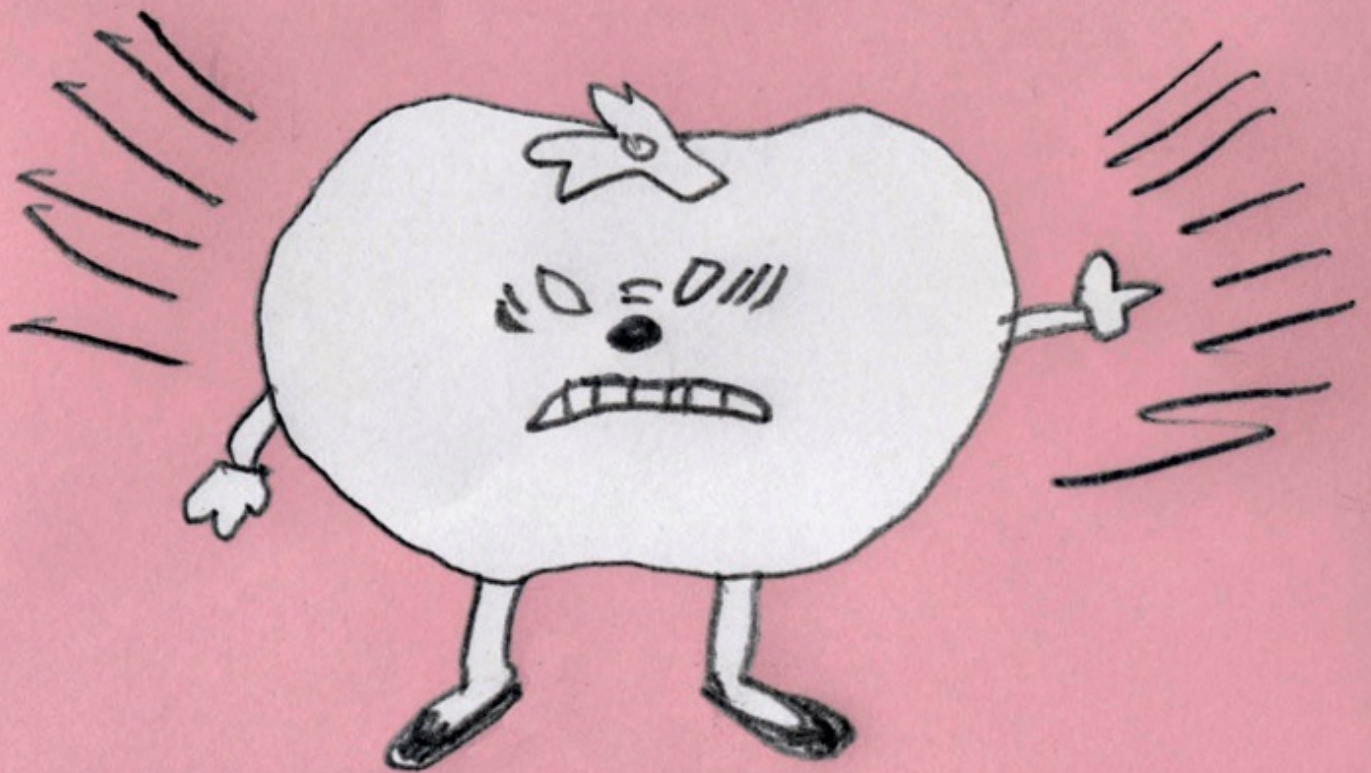
そこで、柿市姉市さんに  
会いにゆきました。



↑ 柿市姉市さん、どうしたら  
あなただけがいい  
よくなるのかしら？」

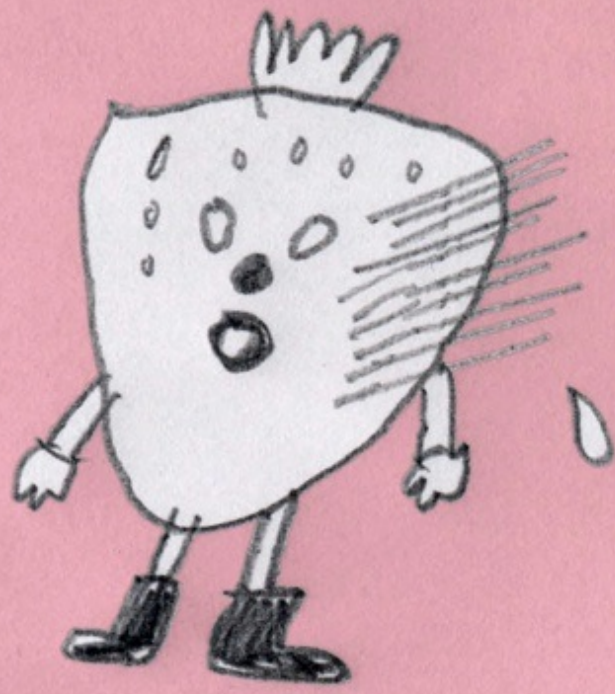
木市女市士んしはものすに  
怒りましたに

「ゴーマん言ってるじゃ  
たよいわよ」



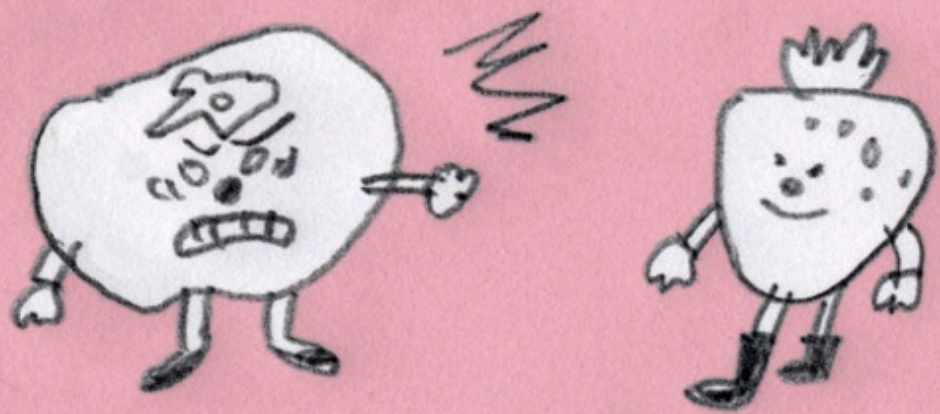
「若くて 40才 50才 60才 のに  
変な 容 姿 長 り か け すると  
た け け を 起 すと から ね っ  
わ け しか じ っ」

いちごはあまりのよかに  
小意しかったです。



と、ともに

木市女市士ののそらいう所が



もっと小意中にしてよ。たのでした。

おわり